



フォレスト NPO (特定非営利活動法人)
Vol. 108 穂の国森づくりの会

〒440-0888
 愛知県豊橋市駅前大通三丁目53番地
 太陽生命豊橋ビル2F
 Tel. 0532-55-5272 Fax. 0532-55-5276
 E-mail / honokuni@honokuni.org
 http://www.honokuni.org/

NPO法人化から20年が経過しました。ひとえに当会の活動に関わってくださいました皆様のご理解とご支援の賜物と、心から厚く感謝申し上げます。

本来であれば、この20年間にNPOの社会的な存在意義や当会の活動がどのように変化してきたのか、じっくり検証する機会を設けるべきでしたが、コロナ禍でそれどころではなくなってしまいました。

そのような中で、2020年6月4日に第20回定時総会を豊橋市民センター（カリオンビル）多目的ホールで開催し、平成31年度事業報告及び収支決算報告、令和2年度事業計画案及び収支予算案などすべての議案が承認されました。以下に令和2年度の事業概要をご報告いたします。

(もりみの)

令和2年度の事業概要とSDGs

前号でもSDGs(持続可能な開発目標)について紹介しましたが、当会もこの趣旨に賛同し各事業を展開しています。

そこで、令和2年度の事業内容とSDGsの17の目標との関連について以下のようにまとめてみました。

森林整備活動

①はじめての森づくり体験講座

初心者や親子でも気軽に楽しく森づくり体験ができるようなイベントを、愛知県民の森(新城市)などで開催します。水源の森の保全の大切さについて実体験を通じて学ぶことができる講座です。



②プリティフォレストクラブ活動

個人会員の有志で結成された森林ボランティア活動です。本年度は、昨年に引き続き、12月～3月にかけて新城市出沢地区で徐間伐を行う予定です。



③穂の国みんなの森活動

2001年から段戸国有林(設楽町)内で、スギ、ヒノキの伐採跡地を、隣接する段戸裏谷原生林と同じような自然林に再生することを目標に取り組んでいます。

また、三河湾と奥三河地域の森林をつなぐ豊川の水源の一つにあたることから、毎年、蒲郡市内の漁業関係者の方々も活動に参加いただいています。



③穂の国石巻の森活動

2009年の台風18号により風倒木災害が発生した跡地(豊橋国有林内)で、常緑広葉樹を中心とした自然林再生活動に2011年から取り組んでいます。現在も地元の企業や団体、大学生などに参加いただきながら、樹木の生長調査や下刈り、除伐などを継続中です。



③ウッドパーク平尾活動

豊川市平尾町にある雑木林を、アウトドア体験や森林環境学習ができるフィールドに整備しました。

今年度は、毎月第3土曜日に定期活動を実施し、様々なイベントの開催も予定しています。



環境教育活動

①森林環境教育支援事業

小学5年生を対象に、森林の多面的機能や林業、木材に関する話を小学校に向向いて説明する「訪問授業」を関係機関と連携して実施します。



②森に親しむ事業

森林地域の自然や自然資源の良さを実感しながら、健康促進を図る自然観察ハイキングを三河生物同好会と連携して開催します。



③木育推進・木材の利用拡大事業

愛知県内で開催される各種イベントで、ブースを出展して幼児でも簡単に作成できる木工教室を開催し、木材の性質や健康への良さを伝える活動を行います。

また、豊橋木材商工協同組合と連携して、木材の有効な利用による地球温暖化緩和について啓発活動を行います。



普及啓発活動

①機関紙「フォレスト」の発行

奥三河地域の自然や文化、最新のイベント情報を紹介し、森林地域の活性化を図ることを目的とした機関紙「フォレスト」を3回 (Vol.107~109) 発行します。



②ウェブサイト・SNSによる情報発信

当会の公式ウェブサイトやブログ、フェイスブックページなどを活用して、奥三河地域の自然や文化の魅力、最新のイベント情報を紹介し、森林地域の活性化をサポートします。



③森づくりサポート事業

企業・団体などが行う森づくり活動や森林活用に対し、作業指導やイベント企画、講演などを行います。本年度は20回程度サポートする予定です。

また、(株)サン・カンパニーの全面的な協力のもと、東三河地域の各所に会の活動がラッピングされた企業・団体のCSR活動につながる自動販売機の設置を依頼し、森林保全の大切さを啓発します。



④森林空間を活かした健康づくり活動

室内ではなく、森林空間を最大限に活用したマインドフルネス教室や健康づくりに関するイベントの開催を予定しています。



森林情報センター構想 プロジェクトチーム活動

関係する団体や企業などに参加を呼び掛け「森林情報センター構想プロジェクトチーム」の更なる体制強化を図るとともに、視察会や勉強会を積極的に開催します。

「山村都市交流拠点施設」などの奥三河地域の自然の魅力を活かした地域活性化事業に対し、東三河市民にとって最大限有益なものになるよう積極的に協力していきます。



以上の事業を、当会の目的でもある東三河地域の市民・企業・行政のパートナーシップにより森林の保全・育成再生を通じて、持続可能な流域循環型社会の実現に向けて取り組んでいきます。

新型コロナウイルス感染拡大の中で、日本でもライフスタイルの在り方の転換期に差し掛かっています。

そこで、「アフターコロナ」の時代を見据え、奥三河地域の自然の多面的価値を活かした新たな暮らし方を各事業の中で生み出していきたいと考えています。

本年度も、皆様の積極的なご参加とご協力をよろしくお願い申し上げます。



穂の国自然観察

三河生物同好会と穂の国森づくりの会が共催して開催してきた自然観察会の様子を紹介しします

その17
「面ノ木原生林」
中西 正

新緑のブナ林、面ノ木原生林を歩く 2010.5.9

本会では、このフィールドでの観察会は初めてだった。素晴らしい自然で、そこを歩くと気持ちがよく、かつ安全なこの場所はもう何回も実施していた感じであった。今回の講師は瀧崎先生だった。

園地から出発して天狗棚に向かう。その途中には早春の草木の花が咲いている。いずれも小さくやさしいものだ。フデリンドウは小さなリンドウで、湿地に咲くハルリンドウよりももっと小さい。ヤマウツボは林床に出てくる腐生植物だが、ピンクの花がきれいだ。ユリワサビは小さな白い花で、水が染み出るような場所に生えている。尾根では低木のウスギヨウラクが目立たないクリーム色で釣り鐘状の花を下向きにつけている。オオカメノキは白い花をお皿状につけ、まだ葉は開いてない状態で咲き始めている。



▲ ウスギヨウラク

そんな中で派手に感じるのがミツバツツジで、木にいっぱいピンク色の花をつけている。これも葉は開いていないので花だけが目立っている。天狗棚からは津具の集落が見渡せた。

面ノ木原生林の見所はブナ林だ。ブナはブナ科に属する落葉高木で、山地帯を代表する植物だ。愛知県ではこれだけの面積でブナ林が広がっている場所はない。垂直分布で行けば1000m~1400m辺りに分布するもので、日本海側に多くの分布地がある。秋田県、青森県にある白神山地にはこのブナ林が広がり、世界自然遺産に指定されている。太平洋側では広い生育地がないと同時に、ブナ林の更新がうまくいってない。このため、ブナ林は衰退傾向で、今後消滅することが心配されている。面ノ木原生林には直径1mのものもあるが、多くの古木で勢いがなく、枝などが枯れている。完全に枯れて倒れ、ギャップが生じている部分も散見される。



▲ 園地から左側の原生林

園地から見て左側の山域が原生林で、人手が入ってない場所である。ブナが優占しモミ、ツガが少し混じっている。少しヤマザクラが咲いている場所はかなり前に太い木が枯れた場所、ギャップと考えられる。これに対して右側の山域は木の高さが低い。中を歩けば木が細いことにも気付く。ここは一度伐採され、その後でできた森で、二次林と考えられる。若い森だけにまだまだいろいろな種類が残り、それらが葉を開くときには種類ごとに色が異なる。今の時期に、その森を外から見ると色彩がバラエティーに富んでいることがわかる。この地域のいずれの場所を歩くにも気持ちがいい。



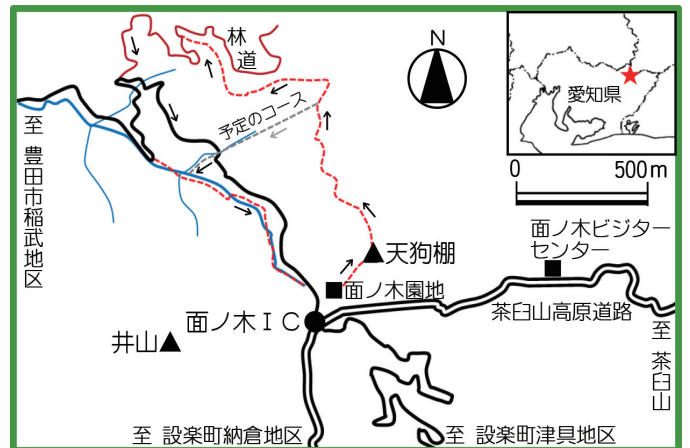
▲ 原生林(ブナ、モミ)

園地から見て右側の山域は木の高さが低い。中を歩けば木が細いことにも気付く。ここは一度伐採され、その後でできた森で、二次林と考えられる。若い森だけにまだまだいろいろな種類が残り、それらが葉を開くときには種類ごとに色が異なる。今の時期に、その森を外から見ると色彩がバラエティーに富んでいることがわかる。この地域のいずれの場所を歩くにも気持ちがいい。



▲ 園地から右側の二次林

尾根部で昼食をとった後、下り始める予定だった。しかし、なかなか下り道にからなかった。結果的に道に迷っており、計画よりもかなり多くの距離を歩いてしまった。安全な場所と油断していたことがいけなかったかもしれない。



イベント インフォメーション

会員の方はもちろん、会員のご家族やご友人等どなたでも申し込み可能です。
参加ご希望の方は、申し込み方法等をご確認の上、穂の国森づくりの会事務局までご連絡下さい。
E-mail honokuni@honokuni.org FAX0532-55-5276 TEL0532-55-5272

9月19日(土)

秋のウッドパーク平尾 里山づくり育樹祭

場 所：ウッドパーク平尾（豊川市平尾町内）
集 合：午前10時にウッドパーク平尾
（詳しい場所は、お申込み後にご案内致します）
解 散：午前11時半にウッドパーク平尾
対 象：3歳児以上（中学生以下は保護者同伴）
定 員：20名（申込み順、ただし会員優先）
参加費：無料
内 容：植樹した苗木のまわりの草刈り作業
持ち物：飲物（多めに）・軍手など
その他：雨天中止
申込み：参加希望者全員の住所、氏名、生年月日、
電話番号を事務局へご連絡下さい。

11月1日(日)

紅葉の段戸原生林 自然観察ハイキング

共 催：三河生物同好会
場 所：段戸裏谷原生林「きららの森」（設楽町）
集 合：午前8時に豊橋信用金庫 駅前お客様相談所前
解 散：午後5時に豊橋信用金庫 駅前お客様相談所前
対 象：どなたでも（中学生以下は保護者同伴）
定 員：40名（申込み順、ただし会員優先）
参加費：3,500円
内 容：紅葉が見ごろの段戸裏谷原生林を観察しな
がらのハイキング。初心者向けのコースです。
持ち物：昼食、飲料など
その他：雨天中止
申込み：参加希望者全員の住所、氏名、電話番号を
事務局へご連絡下さい。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、中止する場合がありますので予めご了承ください。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、中止する場合がありますので予めご了承ください。

企業の森づくり応援します!

森づくり活動に取り組む企業・団体を積極的に応援しています。

- 森林整備の計画づくりや作業指導
- 作業道具の貸し出し
- 森林を活用した社員研修や環境教室
- 愛知県産の木材を活用したイベント等

様々なご要望に応じて応援させていただきます。
穂の国森づくりの会事務局お気軽にお問合せください。
Tel.0532-55-5272 honokuni@honokuni.org



ARK

SIGN & ADVERTISE



看板広告美術 (株)アラキスタジオ



FRAISE
株式会社 フレイズ

私たちと一緒に森へいきませんか?
穂の国森づくりの会会員大募集!!
<http://www.honokuni.org/>

会の趣旨にご賛同いただき、年会費1口以上ご負担いただきますと、どなたでも会員になることができます。
会費:個人会員1口・3,000円/団体企業会員1口・12,000円
入会に関するお問合せは、穂の国森づくりの会事務局まで
Tel. 0532-55-5272 E-mail/honokuni@honokuni.org